

第 80 年度中央コミュニケーションスクール②

会社間の垣根を越えて交流を深める

6 月 12 日、13 日の 2 日間、ホテルマリナズコート東京で第 80 年度中央コミュニケーションスクールを開催した。

この中央コミュニケーションスクールは、所属会社が異なる全国の組合員同士の交流や組合の歴史を学び団結を深めることなどを目的として開催しており、今回は募集を行った結果、全国から 30 人の組合員が参加した。

2 日目の午前中は、朝 8 時 45 分に集合し、ウォーターズ竹芝へ移動した。ここでは、東成マリン株式会社が運航する東京水辺ラインの「あじさい」に乗船し「海から見る東京港見学」とするフィールドワークを行った。ウォーターズ竹芝を出発した後、レインボーブリッジ、品川埠頭、大井埠頭、ゴミと残土の埋め立て地である海の森、有明埠頭を巡った後、越中島方面へ運河を上り、隅田川に入り両国橋付近で折り返し、隅田川を下り、ウォーターズ竹芝へ帰着した。乗船中はガイドの稲垣勝啓さんからコンテナバースや停泊している船舶、国指定重要文化財の勝鬃橋の説明を受けるなど、東京港の歴史について学んだ。

最後に、修了式が行われ、齋藤洋中央執行委員から参加組合員代表として、マリックス物流サービス株式会社所属の恐田和奏さんへ修了証書が手渡され、2 日間の研修が終了した。

参加した組合員からは「講義を通じ、組合員と組合のことを理解することができてよかった」「組合に加入しているメリットを知ることができてよかった」「他社の組合員とコミュニケーションを取ることができてよかった」などの感想が聞かれた。

「海員だより」